

# SSI 鹿屋市フィールドワーク 2023

—「若者が（若いうちに）帰ってきたくなるまちづくり」—

## 応募要項

主催：大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)

2021年度より、大阪大学の学生が、鹿児島県鹿屋市の地域課題や地域の取り組みについて学んでいます。2022年度は防災をテーマに、災害リスクの高い集落に住んでいる住民を対象に防災意識や防災の取り組みについての聞き取り調査を行い、その調査結果や改善に向けた提言の報告会を開催しました（詳細は [https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/activity/other/kanoya\\_pbl2022/](https://www.ssi.osaka-u.ac.jp/activity/other/kanoya_pbl2022/)）。

2023年度のテーマは、「若者が（若いうちに）帰ってきたくなるまちづくり」です。日本の多くの地方・地域と同じように、鹿屋市においても進学や就職を機に若者の人口流出が進み、少子化や労働力人口の減少、地域の産業構造の維持、地域資源や伝統の継承などさまざまに絡まり合った課題が存在しています。一度地元を離れた若者がまた地元に戻ってきたいと思えるようなまちをどのようにつくっていけばよいか。鹿屋市では行政、企業、地域等が一緒になってこの課題に取り組んでいます。

本フィールドワークでは、上記の課題認識のもと、鹿屋市内の地域資源や地域課題を学び、高校生など若者にもアプローチして、「人（中でも高校生）と地域のつながり」について考え、今後の活動や施策のあり方を検討していきます。現地訪問は1回（希望者には2回）とし、終了後に報告会を開催する予定です。関心ある学生のみなさんからのご応募をお待ちしています。

【日程】 \*旅費は大学がすべて負担します。

- 事前学習 2回 7月下旬・8月下旬 \*調整中
- 現地訪問 1回 フィールドワーク 9月13日（水）～16日（金）3泊4日  
または 19日（火）～22日（金）3泊4日 \*調整中  
（希望制）高須町津波避難訓練への参加 12月2日（土）～4日（月）2泊3日 \*調整中
- 報告会の開催 年度内

【募集対象・人数】 大阪大学 学部生・院生 5人程度

【募集期間】 5月29日（月）～6月5日（月）

【応募条件】 \*人数制限があるため、応募多数の場合は選抜します。

- ・全行程に参加できる人を優先します。
- ・志望動機（A4一枚以内：500字程度）[別紙 応募用紙]を募集期間内に提出してください。
- ・応募にあたって指導教員の許可を得てください。

【応募用紙提出先・問合せ】

社会ソリューションイニシアティブ 今井貴代子 (imai@ssi.osaka-u.ac.jp) まで

（企画・実施協力：稲場圭信 人間科学研究科教 / 川端 亮 人間科学研究科教）

応募用紙

私は「鹿屋市フィールドワーク 2023」に申し込みます。

名前 (学年・所属)	
連絡先	メールアドレスと携帯電話番号
志望動機	
指導教員による承認(署名又は押印)	上記の所属学生が「鹿屋市フィールドワーク 2023」に参加することを許可します。  <hr/> <p style="text-align: right;">④</p>